

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平



2015-2016 国際ロータリーのテーマ
世界へのプレゼントになろう
 Be a gift to the world

2015-2016 RI会長
 K.R.“ラビ”ラビンドラン
 スリランカ



第1349回 自然体験例会(於:大芝高原) 平成28年3月29日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 池田幸平ソングリーダー



■ 会長談話 中川博夫会長



今朝、鶯の初鳴きを聞きました。他の鳥に対しての縄張り宣言であり、巣に餌を運ぶメスに対して、「縄張り内に危険なし」の合図でもあるといわれています。桜が咲き始め、春告げ鳥も鳴き始め、いよいよ春本番です。

皆さんは豊かな自然から何を連想しますか？

森、山、川、野生動物でしょうか。山菜が豊富な所、多種の山野草が自生している場所、昆虫の生態系が守られている所と答える人もいますでしょう。

では、人の立ち入りを拒否する手付かずの自然ばかりだったら、豊かな自然を意識することができるでしょうか。そのような人間の影響を排除した場所も、野生動植物保護のためには必要なエリアだと思えますが、全く未知の世界ばかりだったら興味をもつことはできないと思えます。

ですから人間が利活用できる自然も必要となってきます。その典型が里山だと思えます。人為的に造られた場所ですが、多種多様な植生ができあがるので、微細な生物を底辺とした食物連鎖ができており、多種多様な生き物が共存しています。

自然を守らなくてはならないことは、皆の共通認識になっていますが、我々が生きるためには、林を切り開き、田畑を耕し、家畜を飼い、便利な製品を作るなど様々な生産活動をしなくてはなりません。ただし、昔と違って、自然に配慮した活動でなくてはならないことは当然です。

ここ大芝高原とその周辺は、檜・赤松の混在する平地林が残された場所であり、戦前は薪拾いの場所として大切にされ、多様な植生を保っている村有林や1級河川の大泉川があります。人間が手がけたものですが、牧草地、田畑、ゴルフ場などもあり、身近な自然に触れられる場所となっています。

本年度伊那中央ロータリークラブでは、2600地区ロータリー財団補助金を利用し、新たな奉仕活動として大芝公園内に「野鳥の看板」を設置しました。

来場者が、野鳥の姿・鳴き声を知ることにより野鳥に興味を持てば、その生態を観察する機会となるでしょう。例えば、野鳥の歩き方ですが、両足を揃えてぴょんぴょんと跳ぶように歩くホッピングという歩き方を、スズメやカワラヒワ、シジュウカラといった類がいれば、人間と同じように片足ずつ交互に前に出すウォーキングという歩き方を、ハト、キジ、ムクドリなどがいます。また、カラスの仲間のように、どちらの歩き方をしたものもいることに気づくでしょう。そして、森林内に共存(餌となる)する多くの生き物や植物を知る機会になるのではないのでしょうか？

看板設置を機会に、多くの人が自然に興味を持ち、豊かな自然とは多種多様な生物が共存し合える場所であり、経済価値を失った森林は簡単に生態系を崩すことに気づくはずで、野鳥を環境指標の一つとして観察する人が増えてくれることを期待して、会長談話といたします。

■ ニコニコボックス

- ◆中川博夫 今日は大芝高原にようこそ。パンフレットを用意しましたのでご覧ください。
- ◆池上幸平 外孫のお宮参りに日曜日、下諏訪の秋宮へ行ってきました。もう、お宮の中は御柱の準備万端という感じで盛り上がっていました。活気があっていい雰囲気でした。
- ◆鈴木一比古 本日は、ロータリー財団委員会の事業にご協力いただきありがとうございます。
- ◆田中洋 今日、大芝高原に地区補助金の野鳥の看板のお披露目ができます。子供から大人まで皆に見てもらえると嬉しいですね。

■ 幹事報告 池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・3月24日（木）社会福祉法人たかざや福祉会評議員会の報告が矢野昌史会員よりありました。

■ 出席報告 会員数37名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者19名 事前メイク4名
出席率74.19% 前回出席率 修正なし

■ 点 鐘 13:05

次回例会
4月5日（火） 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店
地区研修・協議会の報告

地区補助金事業・奉仕プロジェクト「大芝高原に野鳥の看板設置」

- 13:15～
1. 開式の辞……鈴木一比古ロータリー財団委員長
 2. 主催者挨拶……中川博夫会長



最近ではツバメが激減したと聞きます。原因は様々でしょうが、身近な野生動物である野鳥は環境指標の一つであり、彼らのすみか・餌場を守ることが自然の生態系を守ることであり、ひいては人間にとっても良い環境となります。

生態系豊かな自然を実感するためには、人間が利活用できるものでないと感謝の心をもちませんし、その存在を忘れがちになります。おかげさまで当地には信大農学部があるので、とても恵まれた環境にあります。

そこで、伊那中央ロータリークラブでは、RI第2600地区ロータリー財団補助金を利用して大芝公園内に「野鳥の看板」を設置しましたので、多くの方々が自然を知る良い機会になればと思っています。

来場者が、野鳥の姿・鳴き声を知ることにより野鳥に興味を持ち、その生態を観察すれば、森林内に共存する多くの生き物や植物を知る機会になるでしょう。看板設置により、多くの方が自然環境に関心を持てば、野生動植物が生息する豊かな自然環境との調和・共生を考えるきっかけになっていただければと思います。最後になりますが、看板の製作に携わっていただいた会員の皆様、地域の皆様、業者の皆様、全ての皆様に感謝いたします。

3. 除幕……………南箕輪村（副村長・課長）、伊那中央RC（会長・委員長）

4. 来賓挨拶……………南箕輪村 原茂樹副村長



伊那中央ロータリークラブの皆様には、日頃から村行政へ格別なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。本日は、野鳥看板の除幕式、誠にありがとうございます。また、ご寄贈を賜り感謝申し上げます。

大芝高原は、ご存知のとおり、村の先人が大切にしてきた森であり、多種多様な動植物が生息している豊かな森であります。中には、大変希少な動植物も生息しており、保護活動も行なわれているところであります。

完成した看板を拝見させていただきますと、大芝高原で見られる多種多様な野鳥が一覧になっておりまして、高原においでいただけますお客様にも、新たな発見や探求の場を提供できることとなり、本当にありがたく思います。

この場所は公園への入口であり、毎日大勢の方がウォーキングされております「大芝高原みんなの森・セラピーロード」の入口ともなっております。特に、大芝高原みんなの森につきましては、ウォーキングや自然体験など、毎日多くの方に活用していただいております。村といたしましても、健康教室やノルディックウォーク体験講座など、各種イベントに力を入れているところでございます。野鳥の看板も、今後の事業の中で大いに活用させていただきたいと思っております。

最後になりましたが、伊那中央ロータリークラブのますますのご発展と、会員の皆様方がご健勝でご活躍されますことを祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

5. 閉式の辞……………鈴木一比古ロータリー財団委員長

